

2025(令和7)年度 繊維学会北陸支部先端技術研究会及び 福井大学繊維・マテリアル研究センター研究発表会

主催：(一社) 繊維学会北陸支部及び福井大学繊維・マテリアル研究センター

共催(予定)：(一社) 日本繊維機械学会北陸支部

福井大学産学官連携本部協力会繊維技術研究部会

日時：2026年3月9日(月) 13:30~

場所：福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 13階大会議室

開催方法：対面(オンライン配信はありません)

参加費：無料

プログラム：

13:30-13:35 開会挨拶 福井大学繊維・マテリアル研究センター長 田上 秀一

[先端技術研究会(繊維学会北陸支部主催)] (13:35-14:50)

13:35-13:40 先端技術研究会開会挨拶 繊維学会北陸支部長 末 信一郎

13:40-14:40 安定性に優れる「グアニン四重鎖構造」を用いた高機能核酸材料の創出と応用
物質・材料研究機構 山崎 智彦

[研究発表会(ポスター形式, 福井大学繊維・マテリアル研究センター主催)] (14:50-15:50)

福井大学繊維・マテリアル研究センターの専任・兼任教員より繊維・マテリアル研究分野の研究
成果をポスター形式で発表します。内容は、福井大学繊維・マテリアル研究センターが実施してい
る取組「カーボンニュートラルに寄与する次世代繊維・マテリアル研究拠点形成」に関わる重点研
究助成の進捗状況報告、センターの教員による研究成果報告です。ほかに、福井県工業技術センタ
ー職員より数件の発表を予定しています。

**【「カーボンニュートラルに寄与する次世代繊維・マテリアル研究拠点形成」に関わる重点研究助
成の研究進捗状況報告】**

[A] 環境調和型制御ラジカル重合法を基軸とした次世代マテリアル創製 杉原 伸治

[B] 環境調和型シルクフィルムをモデルとした繊維・マテリアル材料の分析基盤
の構築 鈴木 悠

【教員による研究成果報告】

[1] IPC法を利用した毛髪ケラチンの繊維化 浅井 華子

[2] PVDF-HFPの還元的処理によって作製するフッ素化炭素を用いた電気化学キャ
パシタのための基礎検討 石松 亮一

[3] ブロックコポリマー-無機粒子ブレンド膜におけるマイクロ相分離構造制御 入江 聡

[4] ポリアミドの吸湿が炭素繊維の力学特性に及ぼす影響 植松 英之

[5] 編み目形状および糸の太さを制御した先染め糸編地を用いた摩擦帯電発電 坂元 博昭

[6] 超好熱性アーキアウイルスのナノ材料への応用 里村 武範

[7] スマートテキスタイルによる防災通信技術の基盤構築と無給電アンテナの試
作研究 庄司 英一

[8] ナイロンリサイクルに向けたナイロン分解酵素と光触媒反応の組み合わせに
よる効率的なナイロン分解法の開発 高村映一郎

[9] 弾性率に可変性を有するポリアクリロニトリルゲルの再生利用に関する研究 田中 穰

[10] 逆押出問題の粘弾性流動計算によるノズル形状の予測 田上 秀一

- | | |
|---|-------------|
| [11] 多分岐高分子のブレンドによる、汎用高分子の物性チューニング | 登阪 雅聡 |
| [12] 金属有機構造体の繊維への担持とヒ素吸着能 | 中根 幸治 |
| [13] ナノスケールの機械的接合による易解体性接着技術の確立 | 平田 豊章 |
| [14] セルロース誘導体を用いた構造発色繊維の湿式紡糸技術の開発 | 廣垣 和正 |
| [15] 超臨界二酸化炭素流体を用いた着色ポリエステル繊維による持続可能かつ
制御可能な変色に関する研究 | REN JIANHUA |

【福井県工業技術センターからの発表】
(2～3件を予定 [a~c])

15:50-15:55 閉会挨拶 繊維学会北陸支部副支部長 藤田 聡

参加申込：2026年3月2日（月）までに会社名・氏名・連絡先（メールアドレス・電話番号）をご記入の上、電子メールで下記にお申し込み下さい。

参加申込時の注意：

以下の点につきまして、あらかじめご了承願います。

- 1) 予稿集は、電子情報での配信を予定しております。
- 2) 上記以降に参加申込をいただいた場合は、予稿集が研究発表会当日までにお手元に届かない可能性があります。
- 3) 当日参加も受け付けますが、会場での予稿集頒布はいたしません。

問合せ・申込先：福井大学 繊維・マテリアル研究センター事務 横山可奈子
E-mail: tsan@u-fukui.ac.jp TEL：0776-27-9899